

組立・施工説明書

シンプレオ フェンス

**1F～5F型・7F型～9F型・13F型・SY1F型
自由柱タイプ**

ルシアス フェンス

**H05型・H06R型・H12型・F02型・F04～F05型
自由柱タイプ**

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「シンプレオ フェンス 1F～5F型・7F～9F型・13F型・SY1F型 自由柱タイプ
ルシアス フェンス H05型・H06R型・H12型・F02型・F04～F05型 自由柱タイプ」の
組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本書内の表記

警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守って
いただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商
品の組み立て、施工を行ってください。

| 表 記 | 意 味 |
|---|--|
|  警告 | 製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される |
|  注意 | 製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される |
| お願い | 製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報 |

その他の表記

| 表 記 | 意 味 |
|---|----------------|
|  改訂 | 商品や作業の変更点 |
|  | 作業するうえで必要な情報 |
|  | 知っておくと便利な情報 |
|  | 必ずシーリングをする箇所 |
|  | 電動ドライバーの使用禁止 |
|  | 電気工事士の資格が必要な作業 |

- 一部を除き、本書内の単位は「mm」で表示しています。

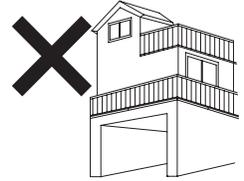
もくじ

| | |
|-----------------|-------------|
| もくじ | P.1 |
| 安全にお取り扱いいただくために | P.2 |
| 作業前の確認 | P.4 |
| 同梱一覧 | P.4 |
| 組み立て・施工 | P.7 |
| 柱の施工 | P.7 |
| フェンス本体の連結 | P.8 |
| フェンスの取り付け | P.9 |
| 警告ラベルの貼り付け | P.12 |
| 補助柱（オプション）の取り付け | P.12 |
| フェンスの切り詰め方法 | P.13 |
| 寸法図 | P.24 |

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 警告

- この商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした一般住宅地外構用のため、高低差のある境界やベランダ、廊下、屋上など転落の起きるおそれのある場所には、使用しないでください。
誤ったご使用は、転落や墜落および思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- 商品を正しく組み立て、施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組み立て、施工については必ず本説明書に従ってください。
正しく組み立て、施工されていない場合、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 適正な工具を使用してください。
思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 取り付け方向、設置場所に指定がある場合は指定に従って取り付けてください。
性能低下および思わぬけがや事故の原因になります。
- 組み立ては、所定のねじを使用し、まっすぐに、最後まで締め付けてください。
締め付け不良は、漏水や性能低下、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- アルミ部材は鉄などの異種金属との接触で腐食が進行します。
必要に応じて塗料、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。
コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。
皮膚に直接接触することにより、かぶれが起こるおそれがあります。
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。
- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。
地盤のゆるいところでは、さらに基礎を大きくしてください。
地盤の支持力が得られず、商品が沈下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。
現地にて柱位置を調整してください。

⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。
柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

お願い

- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けないでください。
商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブロックに柱を立てる際、ブロックの連結部には柱を立てないでください。
ブロックおよび商品の倒壊や破損、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 組立・施工説明書の順序通りに組み付けてください。
商品の組み立て不良や、性能低下につながり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 柱の埋め込み部分先端の小口キャップは取りはずさないでください。
柱内部に侵入したモルタルによって、柱が腐食膨張するおそれがあり、ブロック割れの原因になります。
- 柱内部の発泡スチロールを抜き取らないでください。
柱内に浸入した水が凍結して膨張した場合、ブロックが割れたり、柱が破損したりするおそれがあります。
- 柱の先端のテープは剥がさないでください。
柱内部にモルタルが浸入し、腐食や基礎の破損および思わぬ事故につながるおそれがあります。
- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合はすみやかに拭き取ってください。
外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。



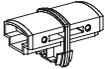
- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具(保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具)を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。
また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。
キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使用してください。
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液は、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください、やむを得ず屋外に置く場合は湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

作業前の確認

同梱一覧

■フェンス本体

- HFE-#F-20□□、HFE-SY1F-20□□
UFE-F04-20□□-XB、UFE-H05-20□□-XB、UFE-H##-20□□

| | | | | |
|-----|--------|---|---|--|
| 姿 図 | — |  |  |  |
| 品 名 | フェンス本体 | 上胴縁連結具 | 下胴縁連結具 | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) |
| 品 番 | — | 3K-30315 | 3K-30316 | AM-4010 |
| 個 数 | 1 | 1 | 1 | 4 |

- HFE-5F-20□□、HFE-13F-20□□、UFE-F02-20□□-XB、UFE-F05-20□□

| | | | | |
|-----|--------|---|---|--|
| 姿 図 | — |  |  |  |
| 品 名 | フェンス本体 | 上胴縁連結具 | 下胴縁連結具 | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) |
| 品 番 | — | 3K-30317 | 3K-30318 | AM-4010 |
| 個 数 | 1 | 1 | 1 | 4 |

■柱・部品

- 自由柱 HFE-PFA1-□□、HFE-PFB1-10

| | | | | |
|-----|-----|---|---|--|
| 姿 図 | — |  |  |  |
| 品 名 | 自由柱 | 上部固定金具 | 中トラスタッピン ねじ2種(φ4×25) | 警告ラベル |
| 品 番 | — | 4K-16342 | BM-4025GD8 | 2K-42631 |
| 個 数 | 1 | 1 | 1 | 1 |

- 自由柱 HFE-PFD1-□□、HFE-PFE1-□□、HFE-PFF1-12、HFE-PFG1-12

| | | | | |
|-----|-----|---|---|--|
| 姿 図 | — |  |  |  |
| 品 名 | 自由柱 | 上部固定金具 | 中トラスタッピン ねじ2種(φ4×25) | 警告ラベル |
| 品 番 | — | 6K-14808 | BM-4025GD8 | 2K-42631 |
| 個 数 | 1 | 1 | 1 | 1 |

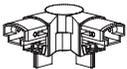
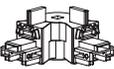
- 自由柱 HFE-PFDN-□□Z、HFE-PFEN-12Z、HFE-PFGN-12、HFE-PFEN-10

| | |
|-----|-----|
| 姿 図 | — |
| 品 名 | 自由柱 |
| 品 番 | — |
| 個 数 | 1 |

● 胴縁固定金具 HFE-B1-XA

| | | | | | |
|-----|---|---|---|--|---|
| 姿 図 |  |  |  |  |  |
| 品 名 | 上部固定金具 | 下部固定金具 | 中トラスタッピン ねじ2種(φ4×25) | 中トラスタッピン ねじ(φ4×16) | 警告ラベル |
| 品 番 | 6K-14808 | 6K-14348 | BM-4025GD8 | EM-4016D8 | 2K-42631 |
| 品 番 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

● コーナー継手 HFE-BC1

| | | | | |
|-----|---|---|---|--|
| 姿 図 |  |  |  |  |
| 品 名 | コーナー継手(上) | コーナー継手(下) | キャップ | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) |
| 品 番 | 3K-30327 | 3K-30328 | 3K-30329 | AM-4010 |
| 個 数 | 1 | 1 | 4 | 4 |

● 格子付コーナー継手 HFE-BC2-□□

| | | | |
|-----|---------------|---|---|
| 姿 図 | — |  |  |
| 品 名 | 格子付 コーナー継手 | キャップ | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) |
| 品 番 | — | 3K-30329 | AM-4010 |
| 個 数 | 1 | 4 | 4 |

● エンドキャップ HFE-BE3

| | | | | |
|-----|---|---|---|--------------|
| 姿 図 |  |  |  | — |
| 品 名 | 上胴縁キャップ | 下胴縁キャップ | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) | 組立・施工 説明書 |
| 品 番 | 3K-30325 | 3-30326 | AM-4010 | — |
| 個 数 | 2 | 2 | 4 | 1 |

● 端部カバー UFE-K4-□□-XA

| | | | |
|-----|-----|--------|---|
| 姿 図 | — | — |  |
| 品 名 | たて枠 | たて枠カバー | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) |
| 品 番 | — | — | AM-4010 |
| 個 数 | 1 | 1 | 2 |

● 端部カバー UFE-K13-□□-XA、HFE-KT4-□□

| | | | | | |
|-----|---------|---------|------------|------------|-------------------------|
| 姿 図 | — | — | | | |
| 品 名 | たて骨 (L) | たて骨 (R) | たて骨カバー (L) | たて骨カバー (R) | 小トラスタッピンねじ (φ4×8) |
| 品 番 | — | — | — | — | EM-4008 |
| 個 数 | 1 | 1 | 1 | 1 | H06 H08 H10 H12 H14 H16 |
| | | | | | 16 20 24 30 34 38 |

● 端部カバー HFE-KT2-□□、HFE-KT3-□□、HFE-KT6-□□
HFE-KT7-□□、HFE-KT8-□□、HFE-KT11-□□

| | | |
|-----|-----|--------|
| 姿 図 | — | — |
| 品 名 | たて枠 | たて枠カバー |
| 品 番 | — | — |
| 個 数 | 1 | 1 |

● 目隠しコーナー継手 UFE-B20-##-XA、HFE-BC3-□□

| | | |
|-----|---------------|-------------------------|
| 姿 図 | | |
| 品 名 | 目隠しコーナー 継手 | 小トラスタッピン ねじ1種(φ4×10) |
| 品 番 | — | AM-4010 |
| 個 数 | 1 | 4 |

■ オプション部品 補助柱 HFE-KH

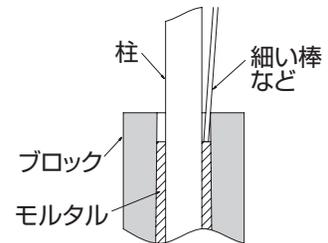
| | |
|-----|-----|
| 姿 図 | — |
| 品 名 | 補助柱 |
| 品 番 | — |
| 個 数 | 1 |

組み立て・施工

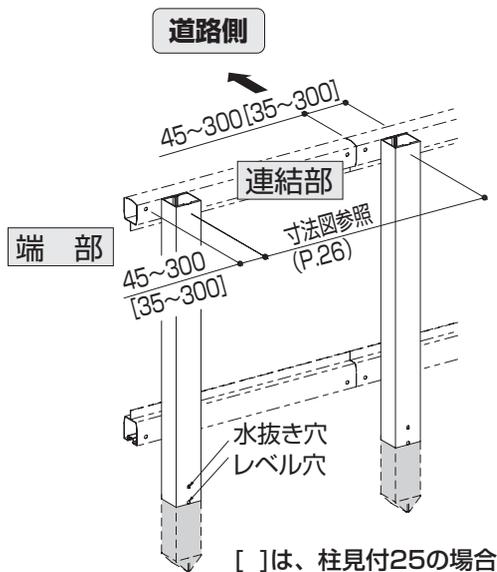
柱の施工

お願い

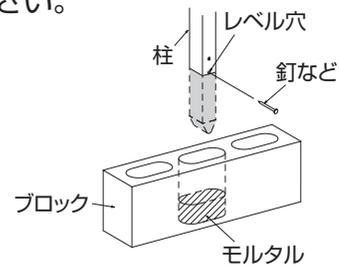
- 柱の水抜き穴はコンクリートで塞がないでください。
塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。
水が溜まり腐食の原因及び思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 細い棒などで突固めながらモルタルを充てんしてください。
モルタルが強固になっていない場合、強度低下の原因になります。



1 フェンス本体を正しく連結するため、柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認のうえ、モルタルで固定してください。



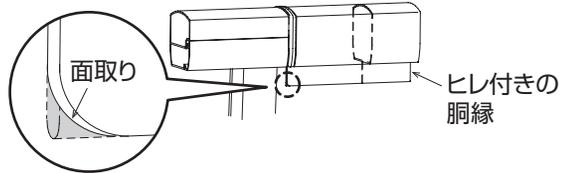
- ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ、柱を差し込むと施工が容易です。
- 釘などを使用して各柱の高さを揃えてください。



フェンス本体の連結

お願い

- ヒレ付きの胴縁と連結する場合にはヒレの端部を面取り加工してください。けがをするおそれがあります。



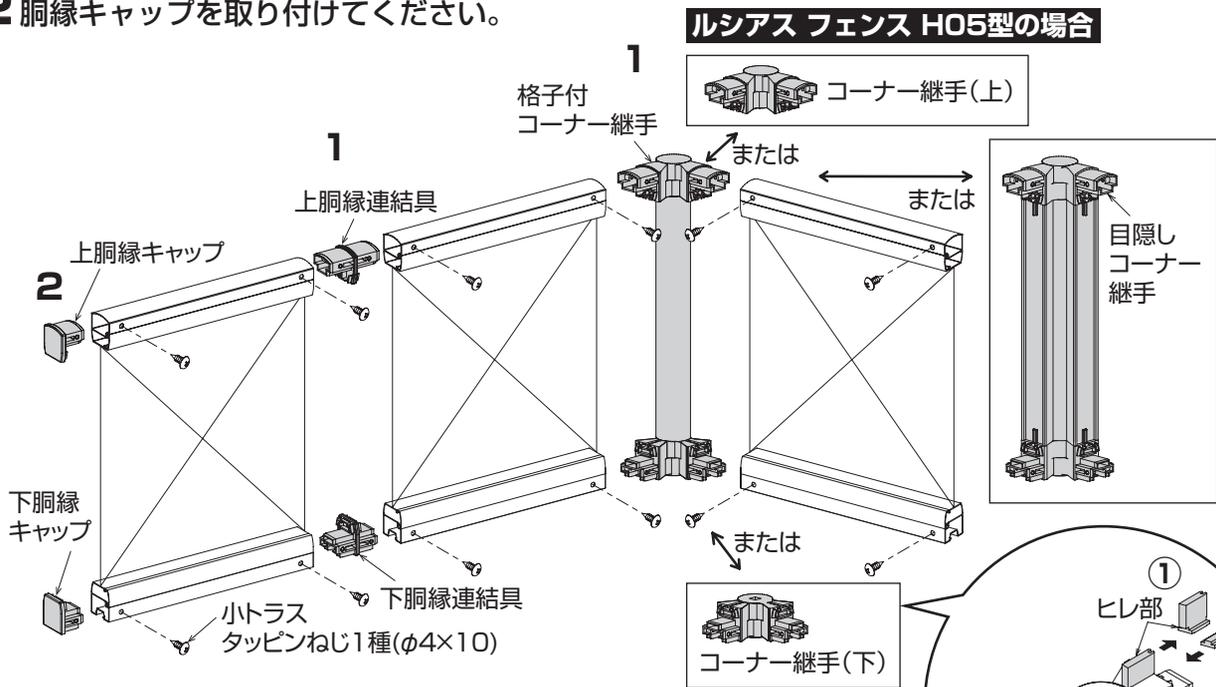
- アルミの熱膨張を考慮し、気温が低いとき(約10℃以下)に施工される場合には、5スパンまたは10mを超えるごとに連結部のすき間を1mmあけてください。



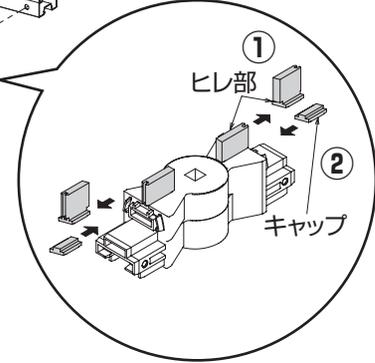
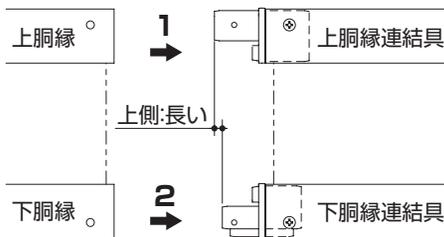
1 胴縁連結具、コーナー継手でフェンスを連結してください。

- ①コーナー継手または格子付コーナー継手のヒレ部をペンチなどで取りはずしてください。
- ②キャップを取り付けてください。(上下とも)

2 胴縁キャップを取り付けてください。



- 連結は上胴縁側から差し込むと施工が容易です。



デザインによって胴縁・連結具の形状は異なります。

ルシラス フェンス H05 型の場合

- 1 フェンス本体とコーナー継手の取付ねじは、フェンス本体に付属のねじを使用してください。

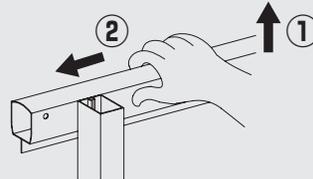
フェンスの取り付け

- デザインや仕様によって胴縁固定金具が異なります。
金具形状にあわせて、P.9～10の施工を行ってください。

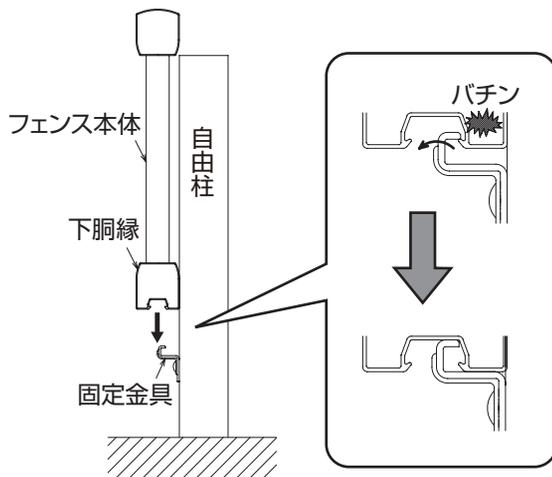
胴縁固定金具 小 (スナップイン式) の場合



- 本体をスライドさせる場合は、
少し持ち上げて動かしてください。



- フェンス本体の位置決め後、固定金具が「バチン」と音がするまで押し込んでください。



シンプレオ フェンス 3F 型・4F 型の場合

必ずヒレのある側を金具に押し込んでください。

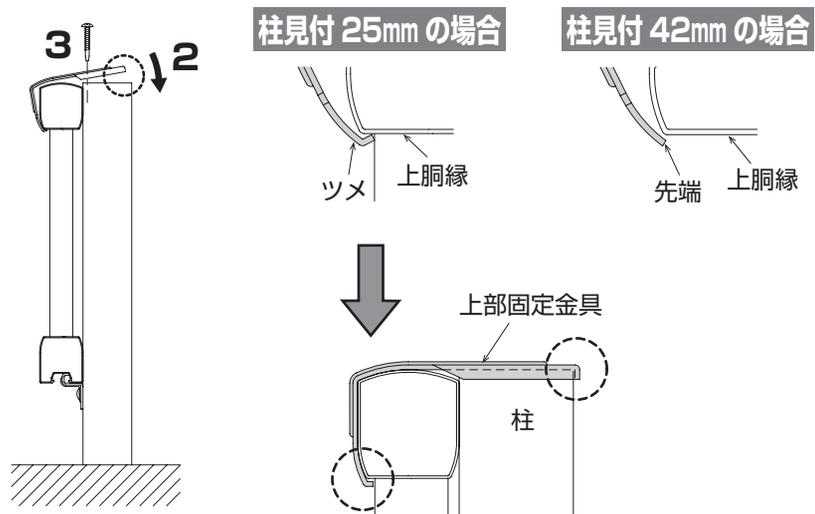


柱見付 25mm の場合

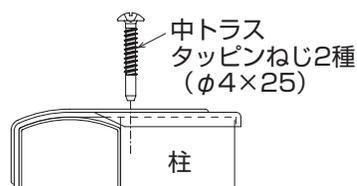
2 金具のツメを上胴縁に引っかけて、柱にかぶせてください。

柱見付 42mm の場合

2 金具の先端を上胴縁にかけて、柱にかぶせてください。



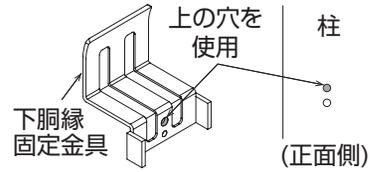
3 ねじで固定してください。



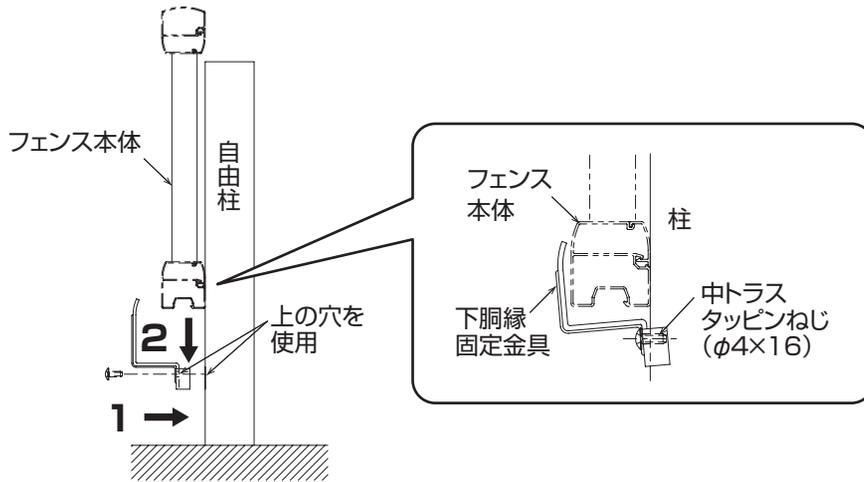
胴縁固定金具 大の場合

お願い

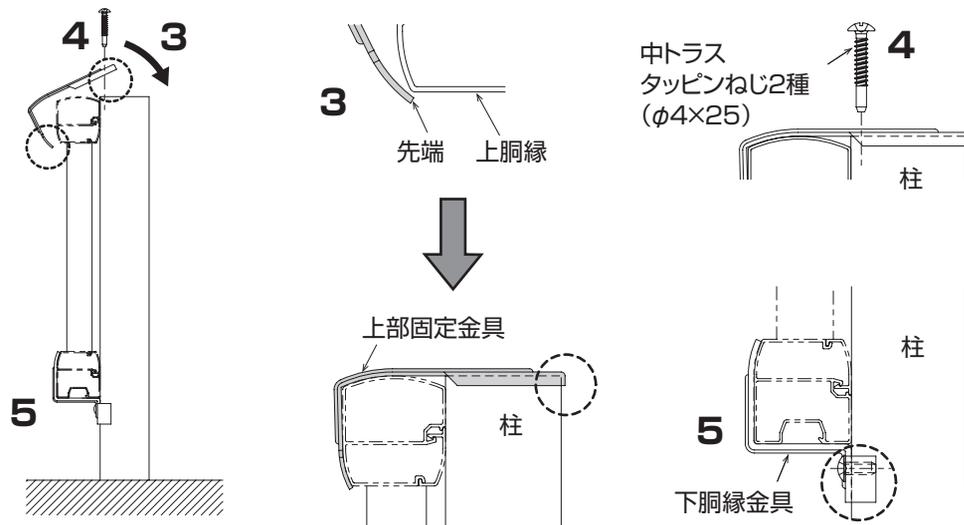
- 下胴縁固定金具は柱Hサイズによって柱に穴が2つあります。必ず、上の穴に取り付けてください。



- 1** 下胴縁固定金具を取り付け、ねじの先が少しかかる程度に仮留めしてください。
- 2** フェンス本体をのせてください。

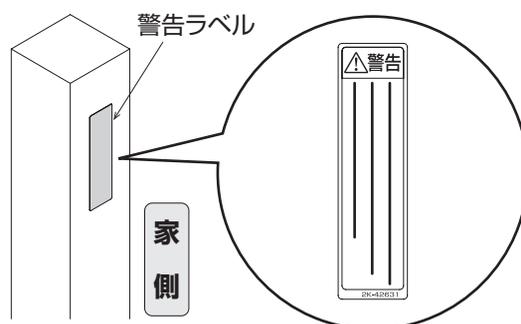


- 3** 金具の先端を上胴縁にかけて、柱にかぶせてください。
- 4** ねじで固定してください。
- 5** 下胴縁固定金具のねじをしっかりと本締めしてください。



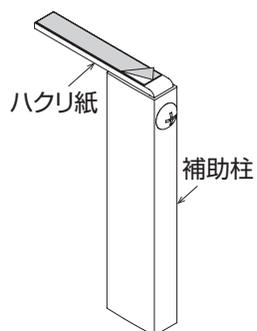
警告ラベルの貼り付け

- 1 柱に同梱の警告ラベルを家側の目立つ位置に貼り付けてください。

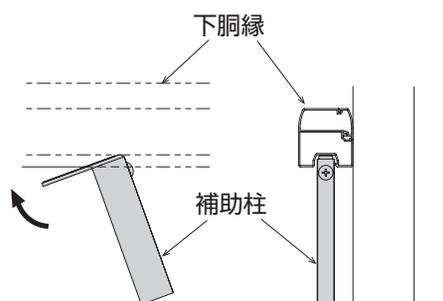


補助柱（オプション）の取り付け

- 1 補助柱のハクリ紙をはがしてください。



- 2 フェンス本体中央部の下胴縁にはめ込んでください。



フェンスの切り詰め方法

| | | | |
|------------------------------|-------|-------|------------------------|
| シンプレオ フェンス 1F型 横格子 | …………… | 端部カバー | HFE-KT2-□□ (1本入り) |
| シンプレオ フェンス 3F型 横太格子 | …………… | 端部カバー | HFE-KT3-□□ (1本入り) |
| シンプレオ フェンス 7F型 井桁格子 | …………… | 端部カバー | HFE-KT6-□□ (1本入り) |
| シンプレオ フェンス 9F型 横格子(粗) | …………… | 端部カバー | HFE-KT8-□□ (1本入り) |
| ルシラス フェンス H05型 横格子 | …………… | 端部カバー | UFE-K4-□□-XA-## (1本入り) |



- 切り詰めの際は、必ず端部カバーが必要です。
切断した余り部分も使用する場合は、端部カバーが2本必要となります。
- 切り詰めたフェンス本体は端部またはコーナー部側に使用してください。

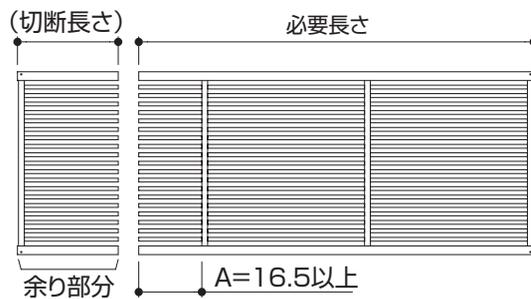
1 必要長さを決め、まっすぐに切断してください。



- 切り詰め後、端部カバー取り付けのため、下図のA寸法が16.5mm以上になるように切断長さを決めてください。
シンプレオフェンス7型の場合はたて格子から16.5mm以上になります。

ルシラス フェンス H05型の場合

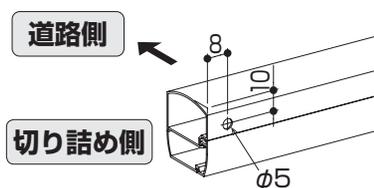
- 切断はチップソーの刃でゆっくり行ってください。
- ラミネートシートにあらかじめカッターなどで切り込みを入れることで切断面がきれいに仕上がります。
- 砥石などで切断すると、ラミネートが焼き付きますので砥石での切断は避けてください。



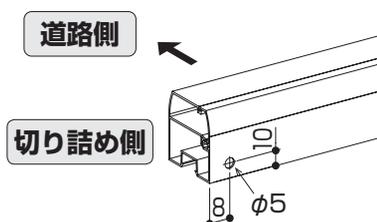
図は、シンプレオフェンス1型 横格子で示しています。

2 切り詰め側の上下胴縁に穴加工 (φ5) を施してください。

● 上胴縁



● 下胴縁

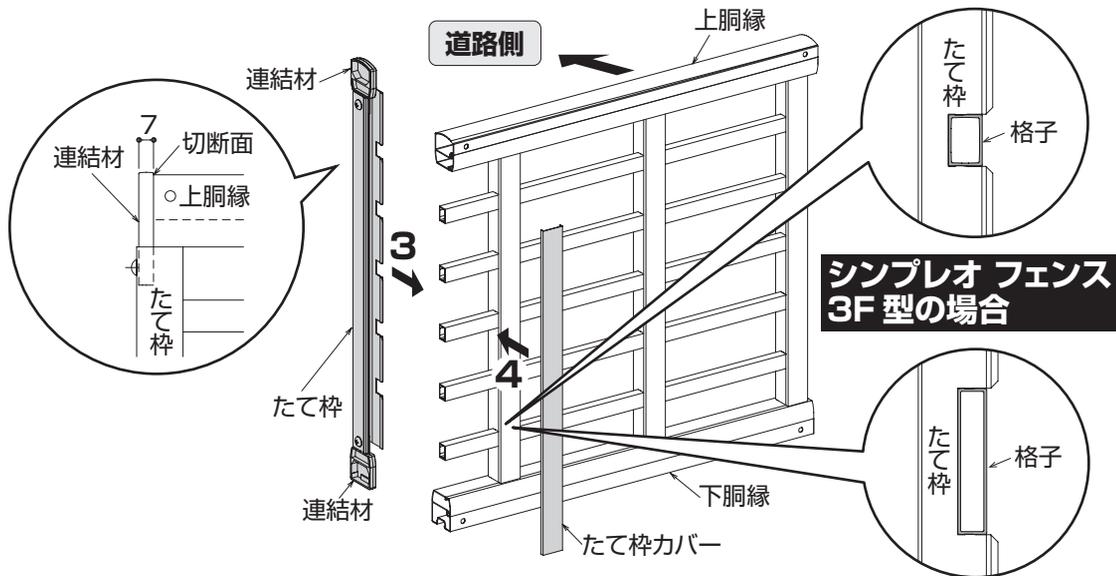
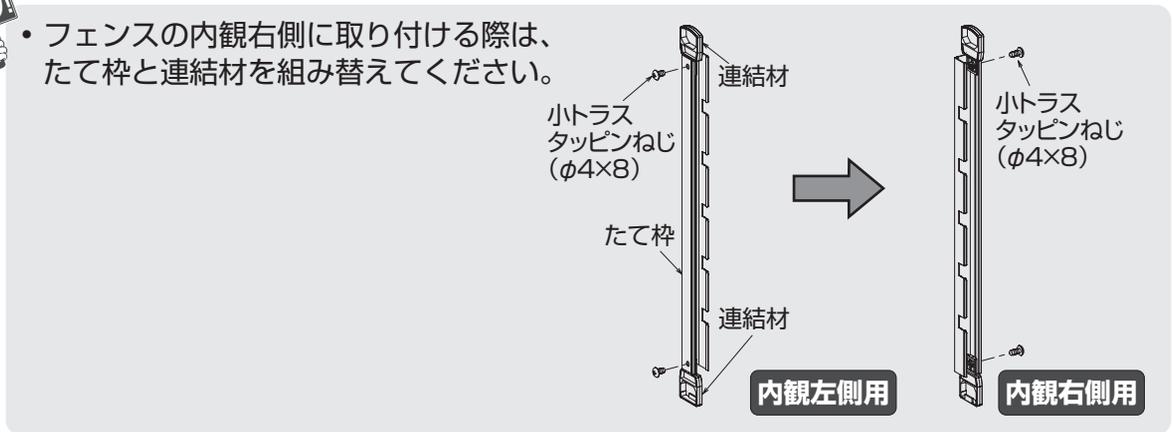


3 たて枠の切り欠きを格子にあわせて、底にあたるまではめ込んでください。

4 たて枠カバーを木づちなどでたたき込んでください。



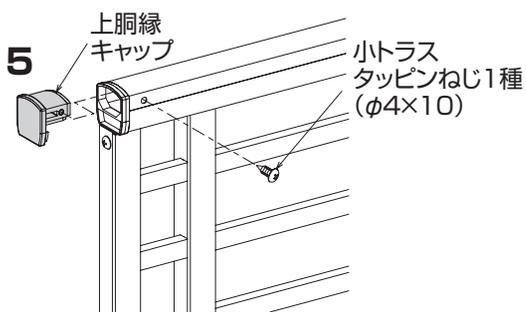
• フェンスの内観右側に取り付ける際は、たて枠と連結材を組み替えてください。



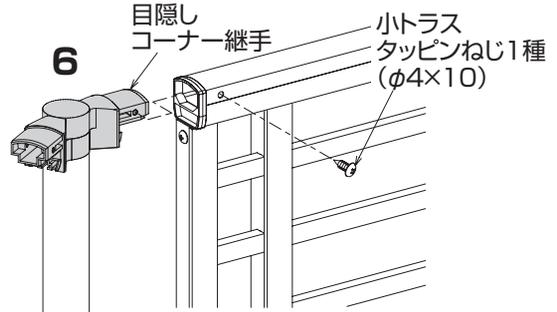
5 端部に上胴縁キャップを取り付けてください。

6 コーナー部に目隠しコーナー継手を固定し連結させてください。

端部



コーナー部



ルシ阿斯 フェンス H05 型の場合

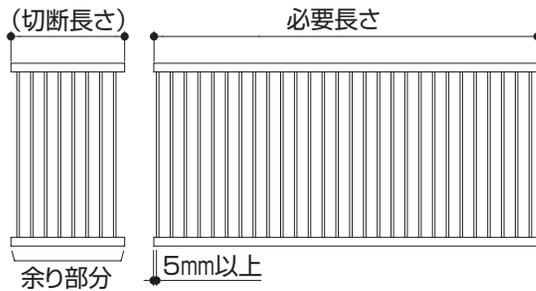
• 端部カバーに同梱の取付ねじを使用してください。

シンプレオ フェンス 2F 型 たて格子
シンプレオ フェンス 4F 型 たて格子
ルシアス フェンス H12 型 たて格子

1 必要長さを決め、まっすぐに切断してください。



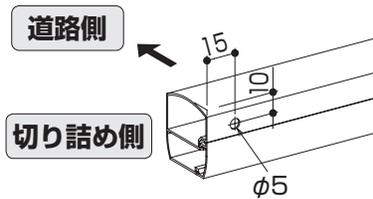
• 格子端部より5mm以上になるように、格子間で切断してください。



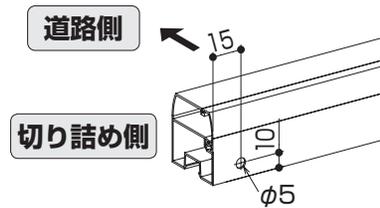
図は、シンプレオフェンス2F型で示しています。

2 切り詰め側の上下胴縁に穴加工 (φ5) を施してください。

● 上胴縁



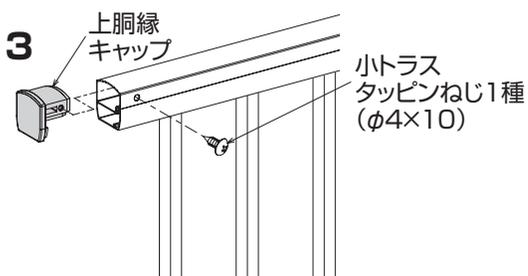
● 下胴縁



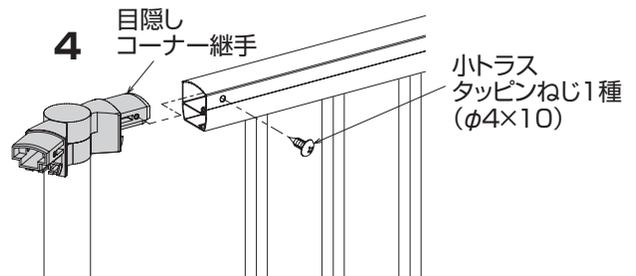
3 端部に上胴縁キャップを取り付けてください。

4 コーナー部に目隠しコーナー継手を固定し連結させてください。

端部



コーナー部



シンプレオ フェンス 8F 型 ラチス格子 …………… 端部カバー HFE-KT7-□□ (1本入り)

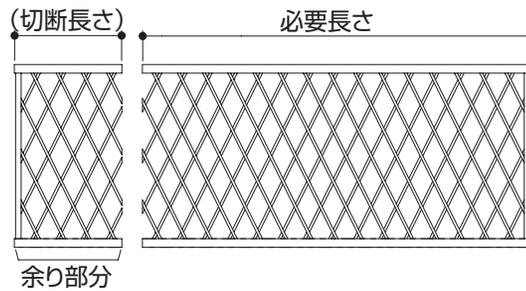
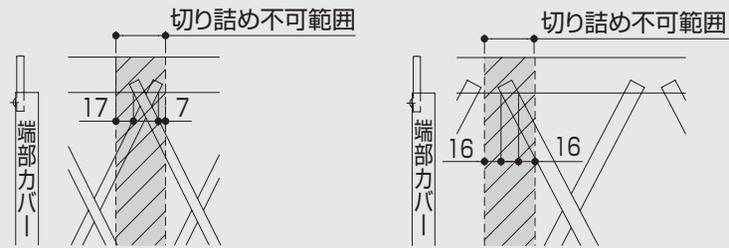


- 切り詰めの際は、必ず端部カバーが必要です。
切断した余り部分も使用する場合は、端部カバーが2本必要となります。
- 切り詰めたフェンス本体は端部またはコーナー部側に使用してください。

1 必要長さを決め、まっすぐに切断してください。

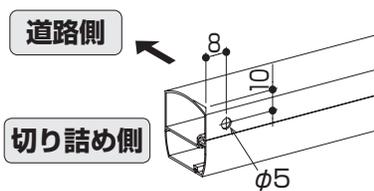


- 端部カバー取り付けのため、斜線部の範囲以外で切断してください。
- 再利用する側の切断部分が下記の範囲以外の場合、再度加工をしてください。

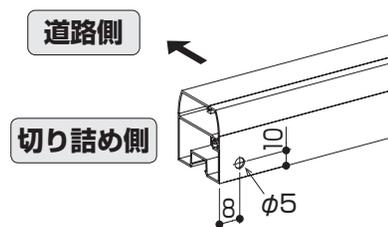


2 切り詰め側の上下胴縁に穴加工 (φ5) を施してください。

● 上胴縁



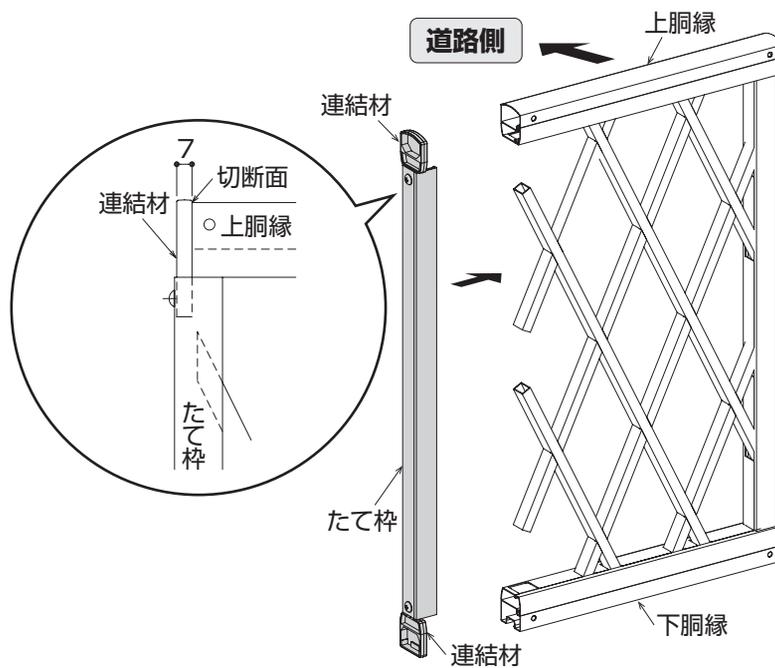
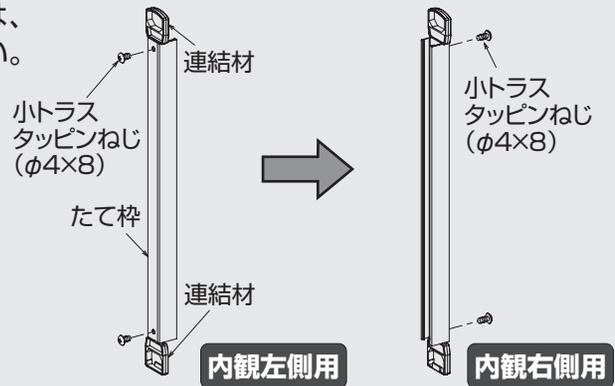
● 下胴縁



3 たて枠の間口に格子部を挿入し、はめ込んでください。



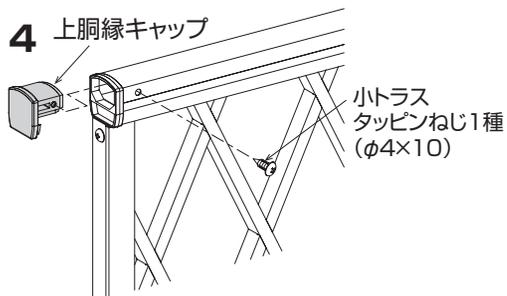
- フェンスの内観右側に取り付ける際は、たて枠と連結材を組み替えてください。



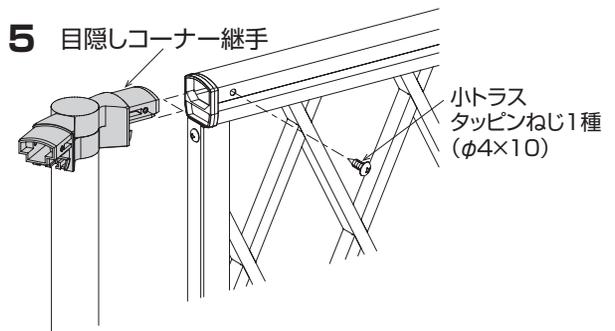
4 端部に上胴縁キャップを取り付けてください。

5 コーナー部に目隠しコーナー継手を固定し連結させてください。

端部



コーナー部



シンプレオ フェンス 13F型 ルーバー
シンプレオ フェンス 5F型 横目隠し
ルシラス フェンス F02型 横目隠し
ルシラス フェンス F05型 ルーバー

端部カバー

- H600~H1200用
HFE-KT4-□□ (2本で1組)
- H1400・H1600用
UFE-K13-□□-XA (2本で1組)



- たて骨は切断した余り部分からはずし、再利用してください。
たて骨をはずす際は上部のパネルカバーをはずし、上から順に固定ねじをはずしてください。
- 切断した余り部分も使用する場合は、端部カバーを別途手配してください。

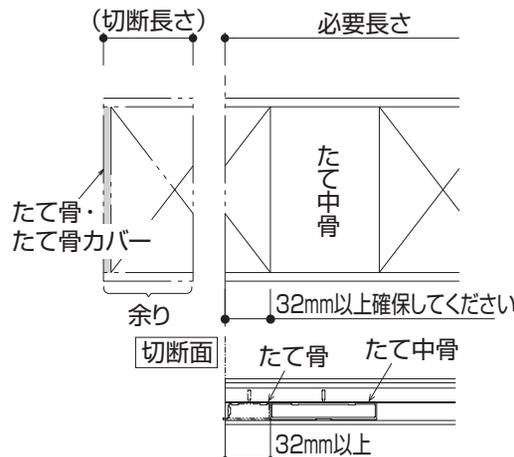
1 必要長さを決め、まっすぐに切断してください。



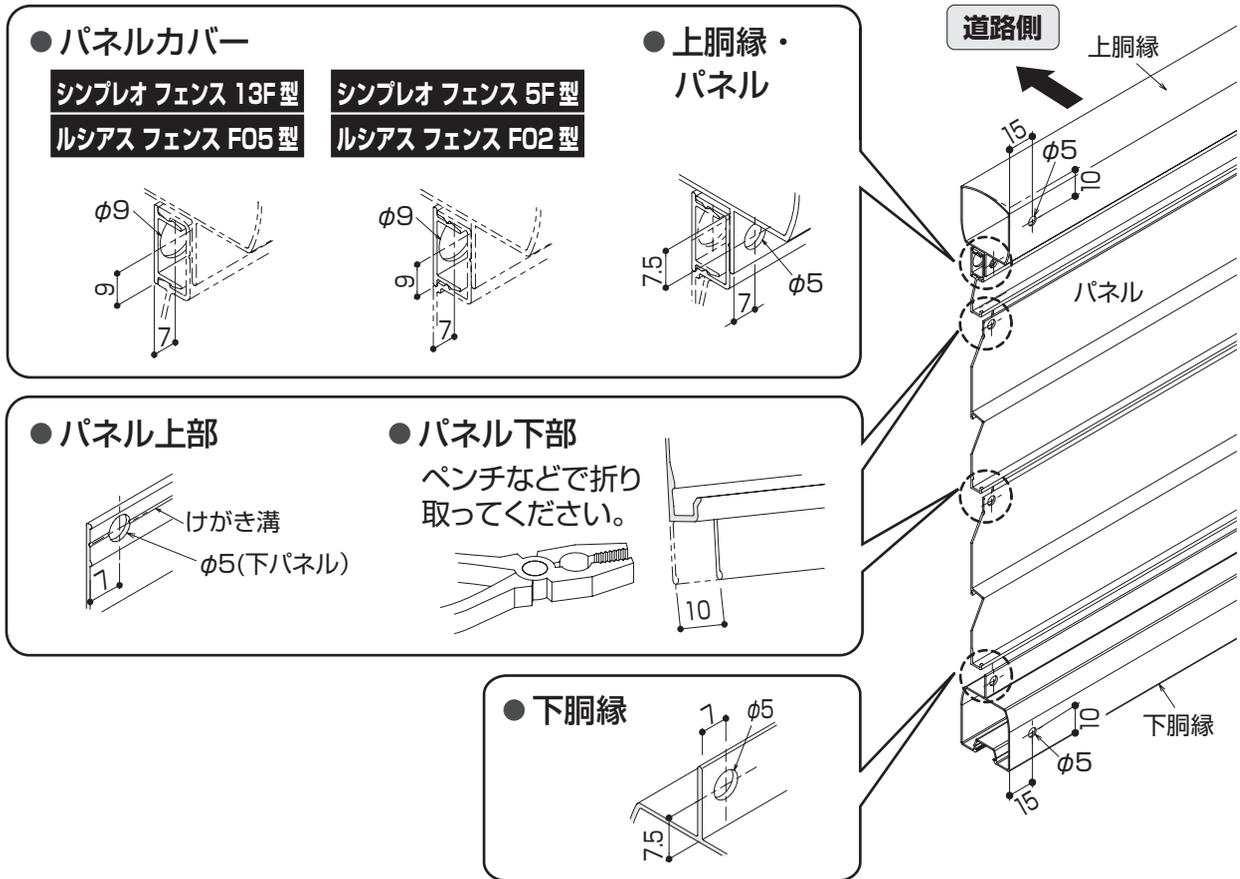
- たて中骨近くを切断する場合は、たて骨取り付けのため32mm以上確保してください。

ルシラス フェンス F02型 横目隠しの場合
ルシラス フェンス F05型 ルーバーの場合

- 切断はチップソーの刃でゆっくり行ってください。
- 砥石などで切断すると、ラミネートが焼き付きますので砥石での切断は避けてください。
- ラミネートシートにあらかじめカッターなどで切り込みを入れることで切断面がきれいに仕上がります。

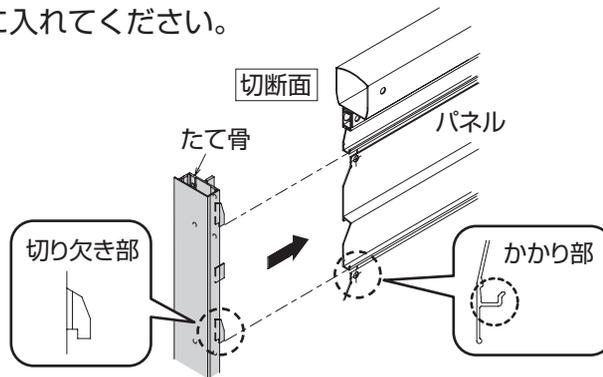


2 胴縁、パネル、パネルカバーに加工をしてください。



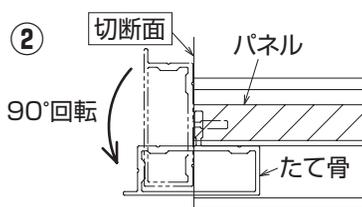
3 たて骨を取り付けてください。

① 切断面に直角に入れてください。

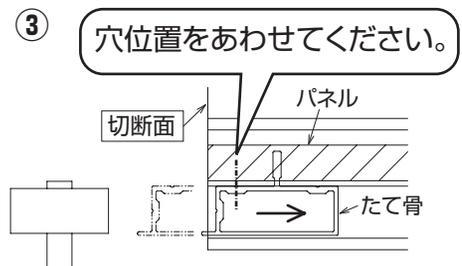


② 90° 回転させ、切り欠き部をかかり部にはめてください。

③ 木づちでたたいて入れて、上下胴縁のヒレの穴加工とたて骨の穴位置をあわせてください。



● パネル納まり



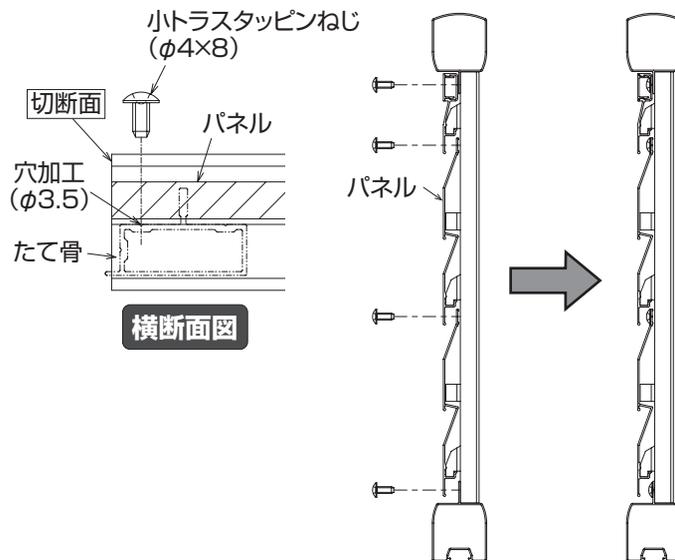
たて骨取り付け部横断面図

たて骨取り付け部横断面図

4 パネル取り付け部に穴加工がない場合

穴加工 (φ3.5) してください。

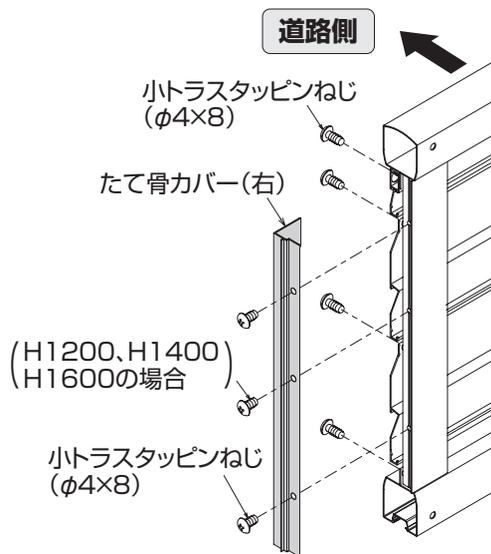
5 パネルをねじで固定してください。



6 たて骨カバーをねじで固定してください。



たて骨カバーには左右勝手がありますので、ヒレの向きに注意してください。



シンプレオ フェンス SY1F 型

ルシアス フェンス H06R 型・F04 型



- 切り詰めの際は、必ず端部カバー（HFE-KT11-□□1本入り）が必要です。切断した余り部分も使用する場合は、端部カバーが2本必要となります。
- 切り詰めたフェンス本体は端部またはコーナー部側に使用してください。

1 切断の前に養生テープなどで、上下胴縁・パネルを固定してください。

2 必要長さを決め、まっすぐに切断してください。
切断の際は、パネルがはねないように当て板で押さえてください。

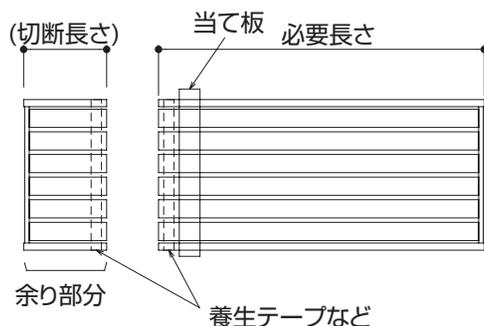


- 切り詰め後、端部カバー取り付けのため、下図のA寸法が16.5mm以上になるように切断長さを決めてください。

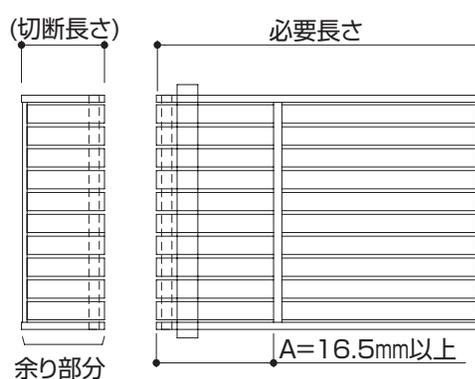
ルシアス フェンス H06R 型・F04 型の場合

- 切断はチップソーの刃でゆっくり行ってください。
- 砥石などで切断すると、ラミネートが焼き付きますので砥石での切断は避けてください。
- ラミネートシートにあらかじめカッターなどで切り込みを入れることで切断面がきれいに仕上がります。

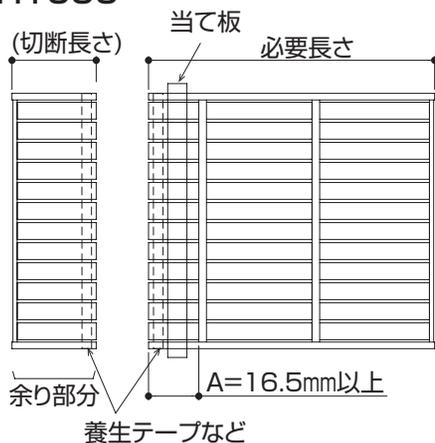
● H600～H1000



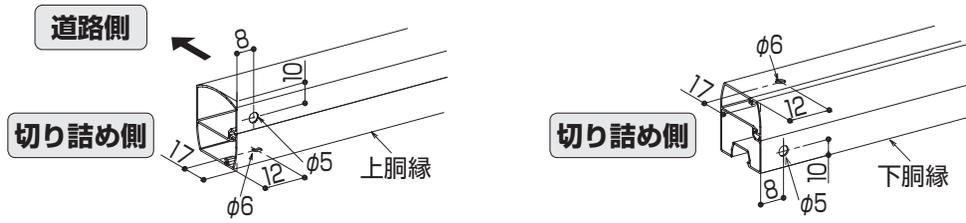
● H1200・H1400



● H1600



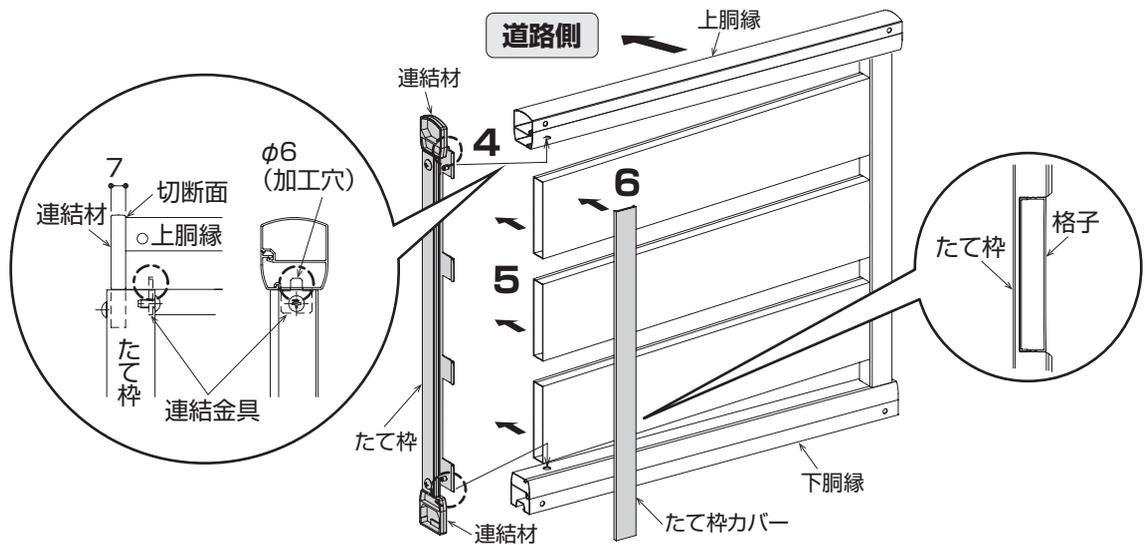
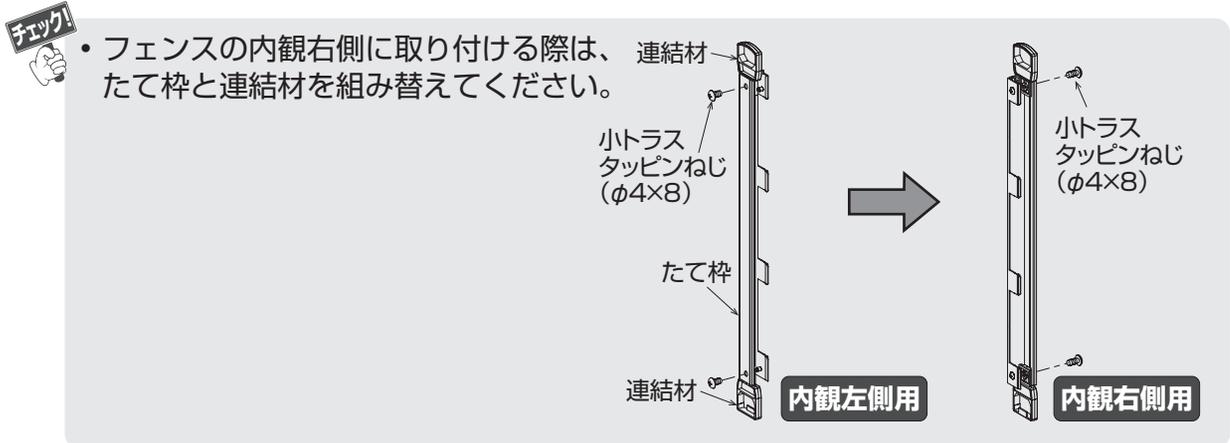
3 切り詰め側の上下胴縁に穴加工（φ5、φ6）を施してください。



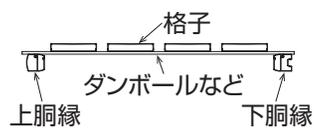
4 連結金具の先端を上下胴縁の穴に入れて、たて枠と胴縁を連結してください。

5 たて枠の切り欠きを格子をあわせて、底にあたるまではめ込んでください。

6 たて枠カバーを木づちなどでたたき込んでください。



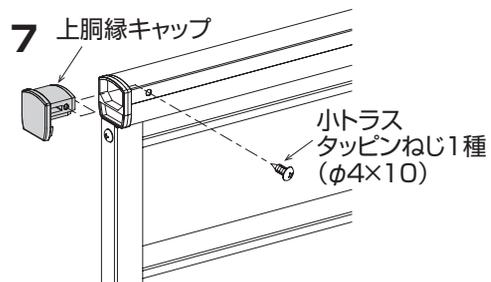
ポイント (Point) • 本体を横にして、ダンボールなどで格子を持ち上げると容易にたて枠が入ります。



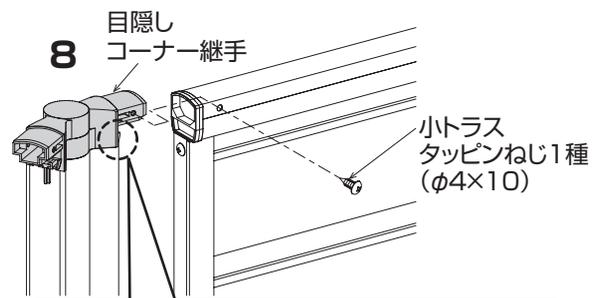
7 端部に上胴縁キャップを取り付けてください。

8 コーナー部に目隠しコーナー継手を固定し連結させてください。

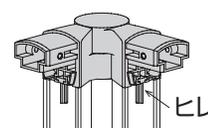
端部



コーナー部



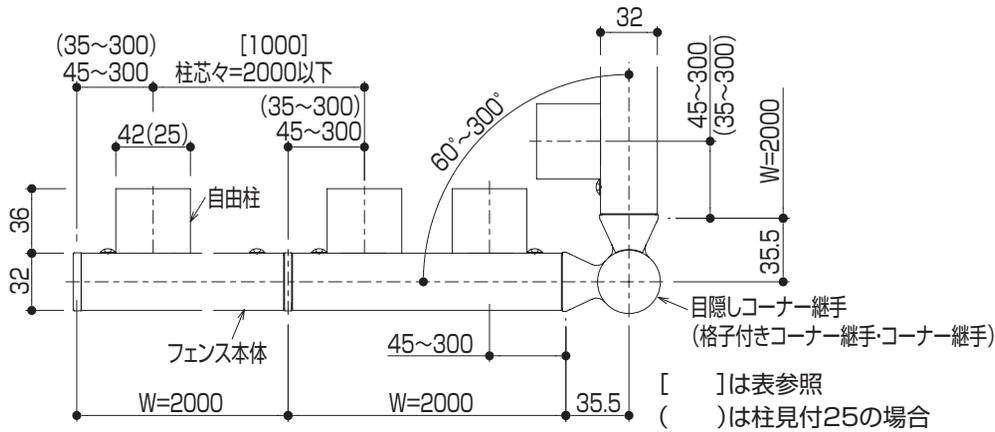
切り詰め側のヒレを
ニッパーなどで切って
ください。
(下側も同様です。)



寸法図

お願い

- 端部、連結部からの柱位置は、45 (35) ~300mmの範囲で施工してください。(連結部に柱は立てられません。)
- 柱は柱ピッチ表に従って施工してください。
- コーナー端部からの柱位置は、45 (35) ~300mmの範囲でそれぞれのフェンスに各1本施工してください。



シンプルオ フェンス 5F・13F・SY1F 型

ルシアス フェンス H06R・F02・F04 ~ F05 型

■柱ピッチ表

| 呼称サイズ T | 耐風圧強度 | |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| | 34m/秒相当 | 42m/秒相当 |
| 60 | 2000以下 (掘り込み深さ170) | 2000以下 (掘り込み深さ170) |
| 80 | | |
| 100 | | |
| 120 | 2000以下 (掘り込み深さ270) | 1000以下 (掘り込み深さ170) |
| | 1000以下 (掘り込み深さ170) | |
| 140 | 1000以下 (掘り込み深さ270) | — |
| 160 | 1000以下 (掘り込み深さ270) | — |

シンプルオ フェンス 1F ~ 4F 型

■柱ピッチ表

| 呼称サイズ T | 耐風圧強度 | |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| | 34m/秒相当 | 42m/秒相当 |
| 60 | 2000以下 (掘り込み深さ170) | 2000以下 (掘り込み深さ170) |
| 80 | | |
| 100 | | |
| 120 | 2000以下 (掘り込み深さ270) | 1000以下 (掘り込み深さ170) |
| | 1000以下 (掘り込み深さ170) | |

シンプルオ フェンス F07 ~ 09 型

ルシアス フェンス H05・H12 型

■柱ピッチ表

| 呼称サイズ T | 耐風圧強度 | |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| | 34m/秒相当 | 42m/秒相当 |
| 60 | 2000以下 (掘り込み深さ170) | 2000以下 (掘り込み深さ170) |
| 80 | | |
| 100 | | |
| 100 | 1000以下 (掘り込み深さ170) | 1000以下 (掘り込み深さ170) |

※H05型は42m/秒相当のみ

